

群 教 セ	G09 - 03
	平14. 205集

論理的に読む力を身に付ける 英語科指導の工夫

— 概要や要点をとらえ、自らの考えを整理する活動を通して —

長期研修員 町田 直之

I 主題設定の理由

私たちを取り巻く環境は近年急速に国際化へと向かっており、私たちの興味や関心は国内にとどまらず、海外にも向けられるようになった。したがって、特に 21 世紀の担い手として広く世界に目を向け、様々な場面で情報を交換することによって、異なる文化や社会を理解し、自らを表現することを通して異文化圏の人々と協調していくことが期待される子どもたちにとって、媒介語である英語の必要性はよりいっそう強まっている。そして、聞いたり読んだりした内容を的確に理解し、自らの考えを相手に正確に伝えるために、論理的に相手のことばや文をとらえ、自らの考えを相手に伝える態度や能力を身に付けることがますます重要になってきている。

しかしながら、中学生の頃から英語を得意としている生徒であっても、概要や要点をとらえて論理的に読み進めているとは言えない。「単語の意味や文法は理解しているつもりなのに、意味が繋がらない」「何を言わんとしているのかははっきりしない」「英文の読み方が分からない」。このような声からも、語彙力や文法力、構文力が、即論理的に文章全体の概要や要点を理解して読むことにつながっておらず、生徒の課題となっていることは明らかである。その原因は、語彙や文法を偏重して 1 文ずつ翻訳しながら読み進める訳読式によって、英文を単に日本文に置き換えることが主な目的となっていた点、またこれが原因で、パラグラフ（段落）ごとの概要や要点のとらえ方、および英文全体の読み方について時間をかけて指導する場面が不足していた点が考えられる。その結果、文の流れや論の構造からではなく、英文をいったん日本語に直してから概要や要点をつかもうとする

習慣が身に付いてしまい、そうしなければ内容を理解できないという結果を生んでしまった。

もちろん英語は外国語であるので、語彙や文法、時には訳読式の読み方が必要な場面があることも否めない。しかし最も重要なことは、考えを正確に伝えるために、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句、および文章の流れや論の構造を明確にするために重要な語句や文を、書き手自らが文章中に明示していることに読み手が気付くことである。こうした読みが身に付けば、いったん日本語に置き換えなくても概要や要点を的確にとらえることができるようになると考えた。また、概要や要点をとらえるときに着目したヒントになる語句や文を参考にして自らの考えを整理する活動を行えば、自らの読みを振り返り、論理的に読む力が身に付くと考えた。

したがって、一方策として、概要や要点、自らの考えを整理する活動が、論理的に読む力を身に付けることに有効に働くことを検証するため、本主題を設定した。

II 研究のねらい

論理的に読む力を身に付けるために、英文の概要や要点をとらえ、自らの考えを英語で整理する活動が有効であることを、実践を通して明らかにする。

III 研究の見通し

- 1 つかむ過程で、それぞれのパラグラフにおいて、文章全体の概要を英語でとらえる活動を行えば、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句を見付けることができるであろう。

2 追究する過程で、文章全体において、要点を英語でとらえる活動を行えば、書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を見付けることができるであろう。

3 深める過程で、自らの考えを伝えようとする文章全体において、考えを英語で整理して相手に伝える活動を行えば、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読む力が身に付くであろう。

IV 研究の内容と方法

1 研究の内容

(1) 論理的に読むとは

伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文に着目して読むことである。つまり、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句や、強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を的確にとらえながら読むことである。

ここでいう、「書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句」とは、書き手の思考や願望、義務等を表す語句であり、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句である。また、「書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文」とは、追加、言い換え、因果関係等、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文である。

(2) 概要や要点、自らの考えを整理するとは

概要とは、書き手が取り上げた話題に則したおおよその内容や話の流れのことであり、要点とは、文章の概要のなかでも、見落としはならない重要なポイントのことである。また、自らの考えを整理するとは、読んだ内容を理解し、それに対する自らの考えを自分なりに伝えることができるように整理することである。

(3) ワークシートについて

文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句、および文章の流れや論理的な構造

を明確にするために重要な語句や文を活用して、英文の概要や要点を的確にとらえ、自らの考えを英語で整理することができるように3種類のワークシートを準備した。そして、それぞれのワークシートに「TASK」(課題)を設けて支援した。

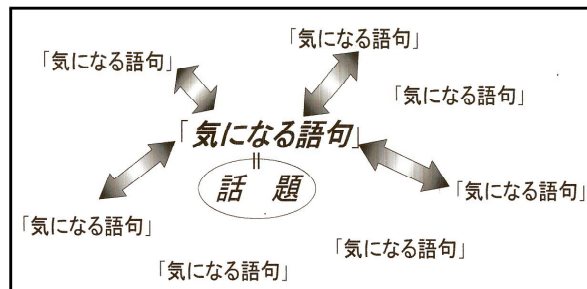
ア つかむ過程について

○ ワークシート①

TASK1、およびTASK2: パラグラフごとの話題をとらえる

セマンティックマップ(以下、「Sマップ」)作成の場面で、それぞれの生徒が重要な語句として抜き出した複数の「気になる語句」のうち、収束して一つのまとまりの中心となる語句をとらえることによって、パラグラフごとの話題を見付けることができる(資料1)。

資料1 セマンティックマップ



TASK3: 話題に関する情報を収集し、文章全体の概要をとらえる

それぞれのパラグラフにおいて、TASK1、およびTASK2で抜き出した、話題に関連する情報の中でも、特に書き手の思考、願望、義務等を表現する語句を含む文に着目して情報を精選し、話題とそれに関連する情報をつなげば、ワークシート①上で文章全体の概要をとらえることができる(資料2)。

資料2 ワークシート①

TASK1 & TASK2	TASK3
第1パラグラフ	
Thomas Jefferson	<ul style="list-style-type: none"> a great thinker = a writer, statesman = president of the US explored the new ideas wrote the Declaration of Independence rarely think of how the young man felt about the greatest challenge of his life on his mind.
We	
話題	話題に関する情報
第2パラグラフ	

イ 追究する過程について

○ ワークシート②

TASK1: 書き手の伝えたいことを文にしてとらえる

それぞれのパラグラフにおいて、ワークシート①でとらえた語句の情報を、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句を含めて文に書き換えることによって、書き手の伝えたいことを整理して書くことができる。

TASK2: パラグラフの役割をとらえる

それぞれのパラグラフにおいて、TASK1で書き出した思考、願望、義務等を、主張、具体例(列挙)、問題提起等の観点から、文章の流れを明確にするために重要な語句や文を見付けることによって、文章全体において、パラグラフごとにその果たす役割を書くことができる。

TASK3: 前後のパラグラフの関係から、文章全体の要点をとらえる

文章全体において、追加、言い換え、因果関係等を表現する語句や文を見付けて、前後のパラグラフのうち書き手が強調しているパラグラフに注目して内容を精選すれば、ワークシート②上で文章全体の要点をとらえることができる(資料3)。

資料3 ワークシート②

第1パラグラフ

役割
問題提起 We rarely think of how the young man felt that afternoon in his room, as he sat alone with the greatest challenge of his life on his mind.

書き手の伝えたいこと

第2パラグラフ

役割

書き手の伝えたいこと

パラグラフの関係

ウ 深める過程について

○ ワークシート③

TASK1: 自らの立場を明確にする

書き手の考えに対して賛成か不賛成かいずれの立場をとるかを明らかにすることによって、自らの考えを整理するための指針を明確にすることができる。

TASK2: 自らの考えを表現するための適切な語句を活用して書く

書き手の思考、願望、義務等を表現する語句

を活用して、自らの伝えたいことを表現することができる。

TASK3: 論の展開を工夫して、自らの考えを整理して相手に伝えるための文章を書く

伝えたいことや強調したいことを明確にするためにヒントになる語句や文を参考にして自らの考えを英語で整理して相手に伝えるための文章を書く。この活動によって、考えを的確に伝えるために、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句、および文章の流れや論の構造を明確にするために重要な語句や文を参考にすることが有効であることに気付くことができる(資料4)。

資料4 ワークシート③

YOUR POSITION: 賛成 不賛成

YOUR OPINION: 自らの考え

STRUCTURE OF PARAGRAPHS:

第1パラグラフ: 役割 自らの伝えたいこと

TASK3: 関係 伝えたいことを明確にするための文

第2パラグラフ: TASK3-(2)

TASK3-(3)

そこで、本研究で目指す生徒像は以下のようにとらえた。

- それぞれのパラグラフにおいて、書き手が取り上げた話題と、話題に則した情報だけを収集し、文章全体の概要を英語でとらえる活動を通して、書き手の思考、願望、義務等を表現する語句を見付けることができる生徒。
- 文章全体において、書き手の強調したいことだけを精選し、文章全体の要点を英語でとらえる活動を通して、追加、言い換え、因果関係等を表現する語句や文を見付けることができる生徒。
- 自らの考えを伝えようとする文章全体において、考えを英語で整理して相手に伝える活動を通して、伝えたいことや強調したいことを明確にするためにヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読むことができる生徒。

2 研究の方法

これらの研究を次のような計画に基づいて授業実践し、検証する。

(1) 授業実践計画

対象	群馬県立太田女子高等学校 1年生 40名	期間	平成14年9月24日～10月8日(9時間)
題材名	IA DOCUMENT FOR ALL PEOPLE (SANSEIDO) 授業者 長期研修員 町田 直之		

(2) 抽出生徒

A子	書き手の伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文の中でも、特に文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目できるように支援し、話題と話題に則した情報を収集して文章全体の内容を貫いたものとしてとらえることができるようにしたい。さらに、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文に着目できるように支援し、着目した語句や文を参考にして自らの読みを振り返ることができるようにしたい。
B子	書き手の伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文の中でも、特に文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文に着目できるように支援し、見落としてはならない重要なポイントをとらえることができるようにしたい。さらに、着目した語句や文を参考にして自らの読みを振り返ることができるようにしたい。

(3) 検証計画

検証項目	検証の観点	検証の方法
見通し1	つかむ過程で、それぞれのパラグラフにおいて、話題に則した情報だけを収集し、文章全体の概要を英語でとらえる活動が、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句を見付けることに有効であるか。	○ワークシート①の記入状況 ・パラグラフごとの話題をとらえることができるか。 ・話題に則した情報を収集し、文章全体の概要をとらえる活動を通して、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句を見付けることができるか。 ○自己評価カードの分析 ・目標に達成感を感じることができるか。
見通し2	追究する過程で、文章全体において、書き手が伝えたいことの中でも、特に強調したいことだけを精選し、文章全体の要点を英語でとらえる活動が、書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を見付けることに有効であるか。	○ワークシート②の記入状況 ・書き手の伝えたいことを文にしてとらえることができるか。 ・書き手が伝えたいことの中でも、特に強調したいことだけを精選し、英文全体の要点を英語でとらえる活動を通して、書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を見付けることができるか。 ○自己評価カードの分析 ・目標に達成感を感じることができるか。
見通し3	深める過程で、自らの考えを伝えようとする文章全体において、考えを英語で整理して相手に伝える活動が、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読むことに有効であるか。	○ワークシート③の記入状況 ・自らの立場を明確にすることができるか。 ・自らの考えを英語で整理して相手に伝える活動を通して、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読むことができるか。 ○自己評価カードの分析 ・目標に達成感を感じることができるか。

3 目標・評価規準

単元の評価規準	評価の場面	おおむね満足できる状況
【関心・意欲・態度】 <input type="checkbox"/> 主人公の考えや独立宣言起草の背景について興味を示し、本文の概要や要点をとらえようとしている。 <input type="checkbox"/> 主人公の考えや独立宣言起草の背景について、賛成や不賛成などの意見を述べたり、簡単な感想を述べようとしている。	【つかむ過程】	・それぞれの生徒が重要な語句として抜き出した複数の「気になる語句」が、相互にどのような関係になっているかを考察して、パラグラフごとに、話題やおおよその内容、話の流れをとらえるために、どのような語句に着目したか、自らの意見を述べようとしている。
	【追究する過程】	・見落としてはならない重要なポイントを見付け出すために、どのような語句や文に着目したか、自らの意見を述べようとしている。
	【深める過程】	・自らの考えを相手に正確に伝えるために、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして、パラグラフごとに考えを整理しようとしている。
【表現の能力】 <input type="checkbox"/> 主人公の考えや独立宣言起草の背景について、概要や要点を整理して書くことができる。 <input type="checkbox"/> 自らの考えを英語で整理して書いたり、発表したりすることができる。	【つかむ過程】	・話題、およびそれをどのような着眼点からとらえたかを理解し、話題に則したおおよその内容や話の流れをワークシート①に英語で書くことができる。
	【追究する過程】	・文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文から、見落としてはならない重要なポイントをワークシート②に英語で整理して書くことができる。
	【深める過程】	・書き手の考えに対する自らの考えを、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にし、ワークシート③に整理して英語で書くことができる。
【理解の能力】 <input type="checkbox"/> 書き手が自らの伝えたいことや強調したいことを見付けるためのヒントになる語句や文を見付け、それらを意識して読むことができる。 <input type="checkbox"/> 書き手が自らの伝えたいことや強調したいことを見付けるためのヒントになる語句や文を参考にして、自らの考えを英語で整理することができる。	【つかむ過程】	・文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目して話題をとらえ、話題に則したおおよその内容や話の流れを意識して読むことができる。
	【追究する過程】	・文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を見付けて、見落としてはならない重要なポイントを意識しながら読むことができる。
	【深める過程】	・文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を参考にして、自らの考えを英語で整理することができる。
【知識・理解】 <input type="checkbox"/> 書き手が自らの伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を、文中から抜き出すことができる。 <input type="checkbox"/> 書き手が自らの伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を、自らの考えを整理するために活用することができる。	【つかむ過程】	・文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目して話題をとらえ、話題に則した適切な語句を抜き出すことができる。
	【追究する過程】	・文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を、文中から抜き出すことができる。
	【深める過程】	・語句や表現の語法の使われる場面に的確に理解し、自らの考えを表現するために適切な語句や表現を見付けて、自らの考えを表現するために活用することができる。

4 指導計画（9時間）

過程	主な学習活動	形態	時間	学習への支援	評価項目	備考
つか	<input type="checkbox"/> 新出語句や新出表現を聞いたり読んだりして、発音したり書いたりする。	全	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○音声の習熟を図るために、直接法を用いた音声のみの導入をし、習熟度に応じて、提示するまとまりを文、句、単語に適宜換えて提示する。 ○音声で文字で確認するために、直接法を用いた音声の導入とフラッシュカードを併用して提示する。 ●ランダムに、時間をあけて、繰り返し聞いたり読んだりすることができるように、指名の方法を工夫する。 ○複数の「気になる語句」が、相互にどのような関係になっているかを整理するために、Sマップを準備する。 ●どのように考えればよいか、考え方を個別に指導する。 ●どのように整理しているか、途中経過をグループで発表するようにする。 	【関心・意欲・態度】 <input type="checkbox"/> 複数の「気になる語句」が相互にどのような関係になっているかを考察して、観点を明確にしてSマップに整理しようとしている。 【表現の能力】 <input type="checkbox"/> 教科書の新出語句や新出表現を聞いたり読んだりして、それを正しく言ったり書いたりすることができる。 【理解の能力】 <input type="checkbox"/> 教科書の新出語句や新出表現を聞いたり読んだりして、その意味や内容をとらえることができる。 【知識・理解】 <input type="checkbox"/> 複数の「気になる語句」が相互にどのような関係になっているかをSマップに整理することができる。	
	<input type="checkbox"/> 「気になる語句」の相関関係をSマップに整理して書く。	全・グループ				
む	<input type="checkbox"/> 文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目し、話題をワークシート①に抜き出す。	全・グループ	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ○話題をとらえるために、何に着目するか補助プリントに示した題材文のうち、該当する文の抜粋を使って、考え方を解説する。 ○話題とそれに着目した根拠を明確にするために、意見交換をするようにする。 ●補助プリントに照らし合わせて、話題を見付けるための考え方の正しさを認め、自信がもてるようにする。 ○ワークシート①を提示して、パラグラフごとの話題が整理できるようにする。 ○ワークシート①を提示して、パラグラフごとに書き手が取り上げた話題とそれに則した情報を整理することができるようにする。 ●Sマップに整理した複数の「気になる語句」のうち、話題とそれ以外の語句がどのような関係になっているか、個別に指導して確認する。 	【関心・意欲・態度】 <input type="checkbox"/> パラグラフごとに、話題やおおよその内容、話の流れをとらえるために、どのような語句に着目したか、自らの意見を述べようとしている。 【表現の能力】 <input type="checkbox"/> 話題、およびそれをどのような着眼点からとらえたかを理解し、話題に則したおおよその内容や話の流れをワークシート①に英語で書くことができる。 【理解の能力】 <input type="checkbox"/> 文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目して話題をとらえ、話題に則したおおよその内容や話の流れを意識して読むことができる。 【知識・理解】 <input type="checkbox"/> 文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目して話題をとらえ、話題に則した適切な語句を抜き出すことができる。	見 通 し 1
	<input type="checkbox"/> 話題に関する情報だけをワークシート①に抜き出す。	全				
追究する過程	<input type="checkbox"/> それぞれのパラグラフが、文章全体の中でどのような役割を果たしているか、またどのように関連付けられているか、その着眼点について話し合い、ワークシート②に書く。	全・グループ	2	<ul style="list-style-type: none"> ○文章全体を通して、どのようなパラグラフ構成で文章が展開されているかをとらえるために、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文がヒントになることを確認できるようにする。 ○文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を見付けるために、着目すべき語句や文の見付け方を、補助プリントに示した題材文のうち、該当する文の抜粋を使って、考え方を解説する。 ○ワークシート②を提示し、それぞれのパラグラフの役割や構造を考えて、それを整理することができるようにする。 ●補助プリントに照らし合わせて、見落としてはならない重要なポイントを見付けるための考え方の正しさを認め、自信がもてるようにする。 ●パラグラフの役割や構造のとらえ方について、学び合いから出された方法を、補助プリントに照らして確認する。 	【関心・意欲・態度】 <input type="checkbox"/> 見落としてはならない重要なポイントを見付け出すために、どのような語句や文に着目したか、自らの意見を述べようとしている。 【表現の能力】 <input type="checkbox"/> 文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文から、見落としてはならない重要なポイントをワークシート②に英語で整理して書くことができる。 【理解の能力】 <input type="checkbox"/> 文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を見付けて、見落としてはならない重要なポイントを意識しながら読むことができる。 【知識・理解】 <input type="checkbox"/> 文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を、文中から抜き出すことができる。	見 通 し 2
深める過程	<input type="checkbox"/> 自らの考えを相手に正確に伝えるために、書き手が自らの伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にし、自らの考えを英語で整理してワークシート③に書く。	全	1	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの伝えたいことを明確にするために、文章の内容を相手に理解する上で重要な意味をもっている語句を確認し、どの場面で、どのように活用するか例を示す。 ○自らの強調したいことを明確にすることができるように、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を確認し、どの場面で、どのように活用するか例を示す。 ○ワークシート③を提示し、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考に、自らの考えを英語で整理して書くことができるようにする。 ●自らの伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文のとらえ方の正しさを認め、自信がもてるようにする。 ●補助プリントに照らし合わせて、自らの伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文の意味や語法の確認をする。 	【関心・意欲・態度】 <input type="checkbox"/> 自らの考えを相手に正確に伝えるために、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にし、パラグラフごとに考えを整理しようとしている。 【表現の能力】 <input type="checkbox"/> 書き手の考えに対する自らの考えを、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にし、ワークシート③に整理して英語で書くことができる。 【理解の能力】 <input type="checkbox"/> 文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文を参考にし、自らの考えを英語で整理することができる。 【知識・理解】 <input type="checkbox"/> 語句や表現の語法の使われる場面を的確に理解し、自らの考えを表現するために適切な語句や表現を見付けて、自らの考えを表現するために活用することができる。	見 通 し 3

(注) ○は「おおむね満足できる」状況の生徒への支援、●は「おおむね満足できる」状況に達しない生徒への支援

V 研究の展開

1 題材

「A DOCUMENT FOR ALL PEOPLE」
(SANSEIDO)

2 題材の考察

本題材は、トマス・ジェファソンがアメリカ独立宣言を起草するにあたり、どのような思いで書き上げたかが書き記された説明文である。彼がアメリカ独立宣言を起草したことはあまりに有名であり、当時の時代背景についても、既に知識としてもっている生徒も多い。したがって、読みやすく、しかも興味深く読むことができるであろうと考えた。

また、本題材は学習指導要領が示す「まとまりのある文」と「物語文」の2種類の文章のうち前者である。つまり、パラグラフごとに、話題とそれに則した情報だけを収集して概要をとらえるために、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句に着目することが有効に働き、また文章全体の書き手の強調したいことだけを精選して要点をとらえるために、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文に着目することが有効に働く文章である。さらに、自らの考えを英語で整理して相手に伝えるために、それらの伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読むことに有効に働く文章である。

このような理由により、本題材の概要や要点、自らの考えを整理する活動によって、論理的に読む力を身に付けるために適切な題材と考え、本題材を取り上げた。

VI 研究の結果と考察

1 それぞれのパラグラフにおいて、文章全体の概要を英語でとらえる活動が、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句を見付けることに有効であったか

(1) 全体の傾向

事前のアンケートの結果から、ほとんどの生

徒が文章の内容全体から話題をとらえようとしていることが分かった。つまり、文章中の語彙や文法、構文のすべてを理解し、いったん日本語に置き換えるプロセスを踏まなければ、話題をとらえることができないということになる。しかしながら、英文を読んだときに語彙や文法、構文のすべてを理解していることは現実にはまれである。したがって、このことが原因で話題を的確にとらえて、文章全体における書き手の伝えたいことを理解することができない理由になっていると考えられる。つまり、文を一つのまとまりのある文章のうちの1文であるというとらえかたではなく、1文ずつが文章全体においてそれぞれ無関係なものであって、単なる情報の寄せ集めであるというとらえ方をした読みをすることによって、このような問題が生じたと考えられる。

そこで、Sマップの整理の場面で、題材の英文から、それぞれの生徒が抜き出した複数の「気になる語句」のうち、収束して一つのまとまりの中心になる語句を「話題」ととらえ、その話題に関連する語句を収集して、話題に則した情報をとらえるという活動を行った。その結果、ワークシート①の記入状況から判断して、およそ8割の生徒が複数の「気になる語句」の中から話題を見付け、パラグラフごとに話題に則した情報を収集することができた。なお、理解が不十分な生徒には、Sマップの整理のしかたのプロセスを個別に確認することによって、ほとんどの生徒が話題を見付け、話題に則した情報を収集することができた。

つぎに、話題に則した情報の中でも書き手の伝えたいことが表現されている情報を抜き出すためにはどのような語句に着目すればよいかを考えるように指示したところ、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句の典型として「思考」「願望」「義務」をあげた生徒が現れ、そこに書き手の伝えたいことが表現されることに気付いた。さらに、具体的にどのような語句に着目すればよいか、また他に注目すべき語句にはどのようなものがあるのかをグループで話し合っ書き出すように指示した結果、書き手が取り上げた話題に則した情報だけを収集する活動において、全体の8割以上の生

徒が"believe""want""should"等に注目することができた。理解が不十分な生徒には、着目すべき語句を補助プリントに整理して一括して提示し、補助プリントに照らし合わせて、書き手が自らの伝えたいことを読み手が気付くように文中に示している語句を確認しながら読み進めていった。その結果、ほとんどの生徒が話題に則した情報を収集することができ、ワークシート①上で概要をとらえることができた。

(2) 抽出生徒

A子は、Sマップに「気になる語句」を整理する場面において、文章の内容全体から話題をとらえようとしていた。つまり、文章中のすべての単語や文法、構文を理解し、いったん日本語に置き換えなければ話題をとらえることはできない状況であった。そのため、「気になる語句」は自らの主観的判断で抜き出すことができるが、それぞれの語句を文全体の中で関連付けることができず、「気になる語句」がSマップ上で孤立してしまっていた。また、それが原因で、ワークシート①に整理する場面においては、「気になる語句」と主語とを結び付けようとしていたため、1つの主語に関する情報を収集することはできたが、主語が替わると収集する情報の種類も替わってきてしまうために、文全体の内容を一貫したものとしてとらえることができなかった。そこで、自ら収集した情報を、「1文1文を結びつけなければならないとしたら、どんな人物や事物が思い浮かぶか」と問いかけたところ、話題を"Thomas Jefferson"ととらえれば、収集した語句のほとんどがそれに収束していくことに気付き、話題をとらえること

資料5 A子のワークシート①

<p>第6パラグラフ</p> <p>Thomas</p>	<p>what was happening in America could happen anywhere, depending on the situation.</p> <p>its people = Americans America had to become independent because the rights of its people were not protected - those basic human rights that all people were entitled to</p>
<p>第7パラグラフ</p> <p>Thomas Jefferson</p>	<p>believed more strongly than anything else that all people were equal and nobody should be treated better than anybody else.</p>

ができた。そして、話題に則した情報の中でも書き手の伝えたいことが表現される語句として"had to""believed"等、「思考」や「義務」に着目し、情報を収集して書き手の伝えたいことをつかみ、ワークシート①上で文章全体の概要を英語でとらえることができた(資料5)。

また、B子は、関連性を考えながら話題をとらえようとしていた。しかし、客観的な根拠を見出せずにいたため、主観的判断で「気になる語句」を抜き出すこともあり、その関連付けが曖昧になっていた。そこで、途中のパラグラフまでワークシート①の整理が終わったところで、『気になる語句』がどのような観点から関連するのかと問いかけたところ、補助プリントと照らし合わせて、"wanted""should"等、「願望」や「義務」に着目した。そして、話題を「トーマスの主張」とし、それに関連付けて、話題に則した情報を収集し、ワークシート①に書き出したことから、書き手が取り上げた話題の中でも、特に書き手の伝えたいことに関わる情報だけをとらえることができ、文章全体の概要を英語でとらえることができたと考えた。

この結果から、それぞれのパラグラフにおいて、話題に則した情報だけを収集し、英文全体の概要を英語でとらえる活動が、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句を見付けることに有効であったと考えた。

2 文章全体において、要点を英語でとらえる活動が、書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を見付けることに有効であったか

(1) 全体の傾向

パラグラフごとに、ワークシート②に文章全体の概要を整理して書く段階で、ほとんどの生徒がそれぞれのパラグラフの役割を理解できた。つまり、"believe""want""should"等を含む文が書き手の伝えたいことが表現される文であり、それぞれ「思考」「願望」「義務」を表し、パラグラフとしては「主張」の役割を果たしていることに気付くことができた。しかしながら、前後のパラグラフの関係については、書き手がどちらを強調しているのか判断できない生徒が

多かった。そこで、理解が不十分な生徒には、文章全体の要点をとらえる活動において、題材文中の語句や文に解説を加えた補助プリントに例示した、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文のとらえ方を個別に確認することによって、ほとんどの生徒がそのとらえ方を理解できた。

(2) 抽出生徒

A子については、ワークシート②の記入の状況からつぎのようなことが分かる。回答例を示した第1パラグラフを含め全8パラグラフのうち、6パラグラフについて、文中の"wanted"や"declared"に着目して、その役割を「トマスの主張」と判断した。そして、パラグラフの関係については、まず話題に取り上げられた回数の多さから、トマスの主張が書き手の伝えたいことであるという前提で、それら複数のパラグラフを精選すれば、書き手の強調したいことをとらえることができると考えた。しかし、自己評価カードの感想に、最終の判定では「よい」と評価しているが、「ワークシート②で…、『追加』とか『言い換え』とか書く点がよくわからなかった。」と書いており、前後のパラグラフの関係を判断するために何に着目したらよいか、途中の段階では苦労していた。そこで、文中の副詞(句)や同じ内容を表現している語句に着目するように助言した結果、"Thomas Jefferson believed more strongly than anything else that ~"と、"Thomas wanted it to be more than just an official document ~"に着目した。つまり、"believed"と"wanted"を使って、同じトマスの主張が表現されている文を比較して、前者にトマスの主張を際立たせる副詞句、"more strongly than anything else"があることに気付き、前者を書き手の強調したいことととらえた。

一方、B子は自己評価カードに、パラグラフの役割については「よい」、前後のパラグラフの関係については「ふつう」としており、感想に「要点をおさえてよめなかったけど、なんとなくコツがわかってきた。」と書いている。書き手の伝えたいことを読み手が気付くように文中に示している語句の判断は、"believed" "should" "declared" "intended"等、書き手の思考や義務が表現されている文としており、これを根

拠にパラグラフの役割を「トマスの主張」と判断している。さらに、回答例を示した第1パラグラフを含め全8パラグラフのうち、6パラグラフが「トマスの主張」であることから、A子同様、トマスの主張が書き手の伝えたいことという前提で、それら複数のパラグラフを精選すれば、書き手の強調したいことをとらえることができると考えた。しかしながら、内容を精選する段階において、前後のパラグラフの関係を判断するために何を根拠にしたらよいかははっきりしない様子だったので、接続詞だけでなく、関係を表す構文にも着目するように助言したところ、補助プリントを参考にして、"not only ~ but (also) …"に着目した。そして、後のパラグラフにおける"~ the Americans intended not only to become free of England, but to set up a government so that the people themselves would be in charge."の中でも、"~ to become free of England …"が、"~ all people were equal and …"と、"~ there were some rights that could not be taken away."を総括した1文であると考えた。そして、後のパラグラフの後半部分の"~ to set up a government …"に書き手の「追加」の主張が表現され、前のパラグラフよりもさらに強い書き手の主張が表現されていると考えた(資料6)。このようなことから判断して、B子の場

資料6 B子のワークシート②

トマスの主張	Thomas Jefferson believed more strongly than anything else that all people were equal and nobody should be treated better than anybody else. And there were some right that could not be taken away.
追加	
トマスの主張	Thomas Jefferson declared strongly that the Americans intended not only to become free of England, but to set up a government so that the people themselves would be in charge.

合は「追加」に着目して、前後のパラグラフのうちどちらのパラグラフを書き手が強調しているものかを判断して、要点を整理するために必要なパラグラフを精選し、それをつなげて文章全体の要点をとらえることができた。

この結果から、文章全体において、書き手が

伝えたいことの中でも、特に強調したいことだけを精選し、英文全体の要点を英語でとらえる活動が、書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を見付けることに有効であったと考えた。

3 自らの考えを伝えようとする文章全体において、考えを英語で整理して相手に伝える活動が、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読むことに有効であったか

(1) 全体の傾向

書き手の伝えたいことに対して賛成か不賛成かの問いに対しては、全員が「賛成」と回答した。そして、それぞれのパラグラフにおいて、ほとんどの生徒が自らの考えを"believe""want""should"等、「思考」「願望」「義務」を用いて、その役割を自らの「主張」と表現した。また、前後のパラグラフの関係については、"also""and""because""for example"等、「追加」「因果関係」「具体例」でつないで、自らの考えを整理することができた。

(2) 抽出生徒

A子が整理したワークシート③を見ると、「自らの考え」を、"*I think that everyone should have rights to freedom.*"（すべての人が自由になる権利を持っているはずだと思う。）と表現している。この文から判断して、"*rights*"を話題とし、話題に関連する「気になる語句」として、"*freedom*" "*alive*" "*own choices*" "*happy*"等を"*rights*"に関する情報とし、話題に則した自らの考えを整理したことが分かる。したがって、ワークシート①で整理した話題とそれに則した情報収集の方法を参考にして、文構成を考えたと判断した。また、それぞれのパラグラフの役割のとらえ方については、第1パラグラフで、"*There should be certain rights everyone is entitled to. For example, those are the right to be alive, the right to do what we made our own choices, and the right to do what we want, as long as it doesn't hurt others.*"

（すべての人が有している一定の権利があるはずで、それは例えば、生きる権利、自分で選んだことをする権利、そして他人を傷つけなければやりたいことがで

きる権利である。）と表現し、"*should*"を用いて「主張」とし、第2パラグラフでは、"*Also, everyone is equal, and has the rights nobody can take away. For example, we have the right to be happy. However, we must have the responsibility for them.*"（すべての人は平等であって、誰も奪い取れない権利がある。それは幸福になる権利である。しかし、その権利に対して責任もある。）と表現した。ここでは、前後のパラグラフの関連付けの方法を工夫して、"*Also*"を活用すれば、第1パラグラフの"*should*"で表現した「主張」に、さらに「主張」を「追加」することができると考えて表現したと考えられる。以上のようにパラグラフ構成を工夫することによって、"*I think that everyone should have rights to freedom.*"を正確に相手に伝えようとしたと判断した。つまり、ワークシート②で整理した、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文としてとらえた「願望」「義務」「思考」のうち、思考と義務に着目して「主張」を表現し、"*Also*"で前後のパラグラフをつなぐことによって、"*Also*"を含むパラグラフに強調したい内容を「追加」して、自らの考えを整理したと判断した（資料7）。

資料7 A子のワークシート③

YOUR POSITION:	賛成	不賛成
YOUR OPINION	I think that everyone should have rights to freedom.	
STRUCTURE OF PARAGRAPHS:	↑	
第1パラグラフ	There should be certain rights everyone is entitled to. For example, those are the right to be alive, the right to do what we made our own choices, and the right to do what we want, as long as it doesn't hurt others.	
第2パラグラフ	Also everyone is equal, and has the rights nobody can take away. For example, we have the right to be happy. However, we must have the responsibility for them.	

一方、B子が整理したワークシート③を見ると、「自らの考え」を、"*Our basic human rights should be protected.*"（私たちの基本的人権は守られなければならない。）と表現している。この文から判断して、B子も"*rights*"を話題とし、話題に則した「気になる語句」として、"*basic*" "*human*" "*protected*" "*all people*" "*equal*" "*power*"等を"*rights*"に関する情報とし、話題に関する自

らの考えを整理したことが分かる。したがって、ワークシート①で整理した話題とそれに則した情報収集の方法を参考にして、文構成を考えた判断した。また、それぞれのパラグラフの役割のとらえ方については、第1パラグラフで、*"All people must be equal, and have the rights for freedom. Because we all live together on the earth."*（すべての人は平等であり、自由を獲得する権利がある。みんな地球で暮らしているのだから。）と表現し、第2パラグラフでは、*"Therefore, the government must get its power from the people. Because I think that the rights of the people must not be taken away by the government."*（政府は権力を人民から獲得しなければならない。人民の権利が政府に剥奪されることがあってはならないから。）と表現して、いずれも"must"を用いて、パラグラフの役割を「主張」とした。つまり、B子がワークシート②で整理した、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句や文としてとらえた「義務」に着目して自らの考えを表現したことが分かる。さらに、ワークシート②に整理する場面でもとらえた語句や文のうち、*"Therefore"*で前後のパラグラフをつないで、*"Therefore"*を含むパラグラフに理由付けをすることによって、第1パラグラフを強調し、自らの考えを整理することができた（資料8）。

資料8 B子のワークシート③

YOUR POSITION:	賛成	不賛成
YOUR OPINION	Our <u>basic human rights</u> should be <u>protected</u> .	
STRUCTURE OF PARAGRAPHS:	↑	
第1パラグラフ	<u>All people must be equal.</u>	
因果関係	Because we all live together on the earth.	
第2パラグラフ	<u>Therefore the government must get its power from the people.</u>	
	Because I think that the rights of the people must not be taken away by the government.	

A子の場合も、B子の場合も、文章全体の概要や要点をとらえる活動を通して身に付けた、書き手が自らの伝えたいことに読み手が気付くように文中に示している語句や書き手が自らの強調したいことに読み手が気付くように文中に示している語句や文を、文章中で再確認しながら

自らの考えを整理して相手に伝えようとしている様子が見られた。したがって、英文は書き手が伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文が必ずあることに気付き、文章を読む場合に、それらを参考にして読み進めれば、英文の内容を的確につかむことができることに気付いたと考えた。

この結果から、自らの考えを伝えようとする文章全体において、考えを英語で整理して相手に伝える活動が、伝えたいことや強調したいことを明確にするためのヒントになる語句や文を参考にして自らの読みを振り返り、論理的に読むことに有効であったと考えた。

VII 研究のまとめと今後の課題

○ 本研究を通して、概要や要点、自らの考えを整理する活動が論理的に読む力を身に付けることに有効に作用することを検証することができた。つまり、考えを正確に伝えるために、文章の内容を理解する上で重要な意味をもっている語句、および文章の流れや論の構造を明確にするために重要な語句や文を、書き手自らが文章中に明示していることに読み手が気付くことができれば、日本語に置き換えなくても概要や要点を的確にとらえることができるようになり、そのような語句や文を参考にして、論理的に自らの考えを整理する活動を行えば、自らの読みを振り返り、論理的に読む力が身に付くことが分かった。

複数のパラグラフをもった英文の読み方に慣れていない早い段階から、このような着眼点を意識した読む指導は、今後さらに「5W 1H」等、様々な着眼点と複合し、より高いレベルの読みが実現することが期待でき、意義があると考えられる。

○ パラグラフの関係については、接続詞や構文、同じ内容を表現している語句に限らず、様々な形で文中に表れていると思われる。

したがって、今後は、文章の流れや論理的な構造を明確にするために重要な語句を、どのように整理して、どのように提示することで最も高い効果をあげられるかを分析、検証していく必要がある。